

科 目 名	教職実践演習				
配 当 学 年	4 年	必修・選択	必修	CAP制	対象外
授 業 の 種 類	演習	単 位 数	2 単 位	授業回数	15
授 業 担 当 者	宮嶋 衛次、今井 順一		単位認定責任者	宮嶋 衛次	
実務経験の有無	有				
実務経験のある教員名および授業の関連内容	学校現場での経験をもとに実践的な内容を含めて授業を行う。				
授業科目の概要	教育実習で経験し学修した内容を発展させ、プロ教師としての資質を高めるため、実践的な職務内容について学修する。小学校、中学校、定時制高等学校訪問など実践教育についての意欲を高め、視野を広げる様々な取組を行う。				
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育実習を振り返り、生徒を中心に考えた「教師力」を身に付けることができる。 2. 教育に対する使命感や情熱をもち、自己研鑽に励むことができる。 3. 高い倫理観や規範意識、困難に立ち向かう強い意志をもって職責を果たすことができる。 4. 組織の一員としての自覚をもち、他の教職員と協力して職務を遂行することができる。 5. 子どもとの信頼関係を築き、学級集団を把握して規律ある学級経営を行うことができる。 				
学修成果評価項目(%)および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	0 %			
	専門知識	20 %	レポート		
	倫理観	20 %	レポート、プレゼンテーション		
	主体性	20 %	レポート、プレゼンテーション		
	論理性	0 %			
	国際感覚	0 %			
	協調性	10 %	プレゼンテーション		
	創造力	10 %	プレゼンテーション		
責任感	20 %	レポート、プレゼンテーション			
授業の展開					
1.	オリエンテーション				
2.	教職の意義・教員の役割、職務内容、生徒指導（グループ討論）				
3.	教職の意義・教員の役割、職務内容、生徒指導（ロールプレイング）				
4.	社会性、対人関係能力についてのグループ討論				
5.	教員の資質能力についての講義と確認				
6.	模擬授業（IT）の実施「数学」（検討会）				
7.	模擬授業（IT）の実施「理科」（検討会）				
8.	学校現場の見学・調査（中学校訪問研修）				
9.	教科の専門指導力についての講義				
10.	教科の指導力についてのグループ討論				
11.	学校現場の見学・調査（小学校訪問研修）				
12.	学校現場の見学・調査（高校定時制課程訪問研修）				
13.	コミュニケーション能力について（グループ討論）				
14.	生徒理解を活かした学級経営について（グループ討論）				
15.	特別支援教育と介護体験について（グループ討論）				
授業外学修について	<授業外学修> ・授業理解のために課題を提示するので、自らの考えをまとめてプレゼンを行う準備をすること				

教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習日誌（学術図書出版） ・教育実習の手引き（学術図書出版） ・高等学校学習指導要領解説（文部科学省） ・中学校学習指導要領解説（文部科学省） ・生徒指導提要（文部科学省） 				
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、授業時に適宜指示する ・出身高等学校「学校要覧」、教育実習校「学校要覧」 				
試験等の実施	定期試験	その他のテスト	課題・レポート	発表・プレゼンテーション	取組状況等
	×	×	○	○	×
成績評価の割合	0 %	0 %	50 %	50 %	0 %
成績評価の基準	<p>本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。</p> <p>秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）</p>				
試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項	<p>【レポート】</p> <p>講義内容や学校体験実習の内容についてレポートを課す。</p> <p>【プレゼンテーション】</p> <p>講義内容や学校体験実習の内容について、プレゼンテーションを行う。また、TTによる模擬授業を行う。</p>				

（教職実践演習）